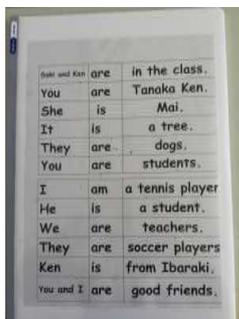
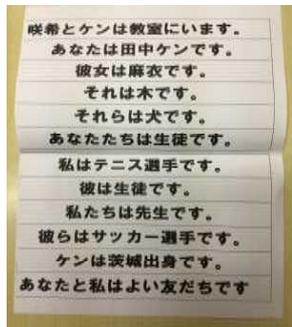
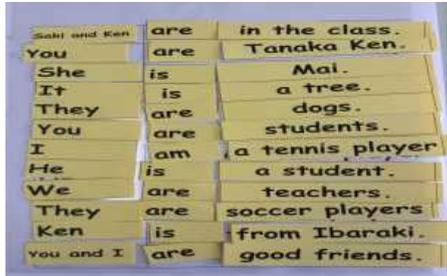


自作教具の活用事例

<p>【作品名】 英語センテンスビルディング</p>	<p>【学校名】 日立市立泉丘中学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 自立活動（英語）</p>	<p>【制作者名】 菊池 範子</p>
<p>【制作の意図】 英語学習の基礎となる主語と be 動詞、補語の関係を自分の手で操作しながら確認し、繰り返し学習することが可能。</p>	<p>【使用の方法】 英文例や和訳例を見ながら、正しい英文になるように各種品詞カードを正しい組み合わせに並べる。</p>
<p>【制作上の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書くことが苦手な生徒が、ボードに挟んだ英文例の上にカードを載せるだけの単純な作業で、繰り返し学習に取り組みやすいようにした。 ・1種類のカード1列を白く抜くことにより、適切な語を組み合わせられるようにまなボードを活用した。 ・3種類のカードの組み合わせで自分の考えた英文に挑戦することができる。 	<p>【見取り図】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="847 736 1086 1055">  </div> <div data-bbox="1114 728 1406 1055">  </div> </div> <p style="text-align: center;">英文例一覧表 和訳例一覧表</p>
<p>【写真】</p> 	 <p style="text-align: center;">カードを置いた状態</p>
	<p>【使用効果と応用発展】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①個人のペースに合わせて、短時間で学習できる。 ② not/ do/ does/ ?などのカードを加えることによって平叙文の学習以外の否定文や疑問文の練習ができる。 ③英文例にとらわれず、意味のある文を各自で作し、理解・定着の確認が出来る。 ④ペアで話し合いながら活動できる。 ⑤ゲーム感覚で個人内計時や友達との競争などもできる。
<p>【材料・材質・部品等】 B 4用紙（英文一覧表と日本語を印刷） 画用紙（主語・be 動詞・補語カード用） IZUMI まなボード mini（英文一覧表を挟むために用いる。なくても可）</p>	